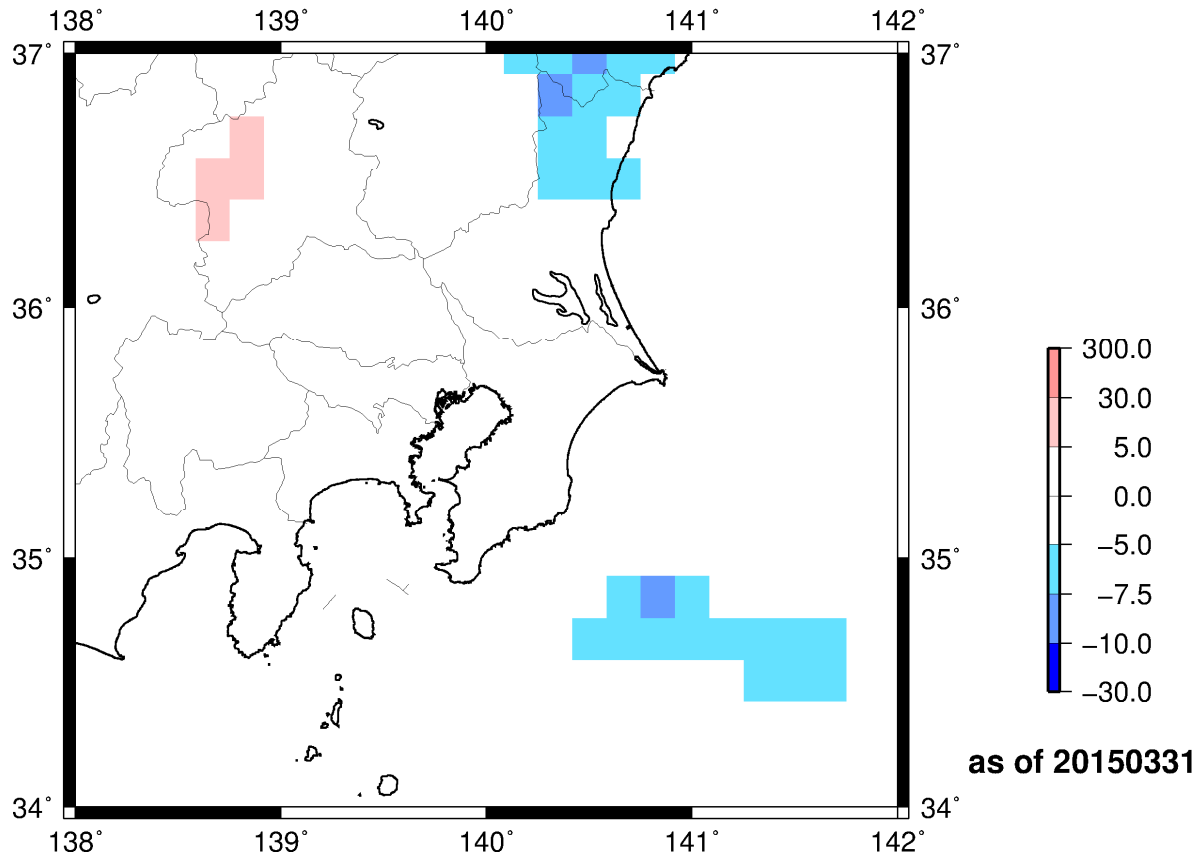


関東地方の状況

311以降、関東地方の地震活動はそれまでと全く様相が変わってしまった事はこれまでも何度もお知らせしてきました。つまり過去（つまり311以前）の経験則が使えない状況になっています。そのため、我々は311の余震活動が少しは収まり始めた2011年7月以降の地震データのみを用いて解析を行っています。下に示します首都圏の地下天気図は3月末日までのデータを利用したものです。現時点で継続的に続く大きな異常（青色の領域）は首都圏では観測されていません。



地震活動の変化というのを詳しく見積もるためには、より長い期間（たとえば10年間、あるいはそれ以上）のデータを用いる事が理想です。繰り返しになりますが、現在行える解析は311以降の4年弱のデータです。そのため、異常が生じているか／その異常が真に前兆かについては、十分な吟味が必要です。

現時点で言える事は、地下天気図からは「すくなくとも数ヶ月以内に阪神大震災クラスの地震が東京で発生する兆候は観測されていない」という事です。

今年1月28日のニュースレターと合わせてご覧いただければと思います。